

### 『1人1台端末』は、家庭における活用がカギ！

北区は、令和3年度から、『1人1台端末』の環境による教育が実践できるよう、取り組んでいます。今回は、『1人1台端末』の家庭における活用方法や、取扱い等について紹介します。

#### ☆ 活用する端末の周辺機器

	子どもたちと先生が使う合計約2万台の端末の手配は、順調に進んでいると聞いたけど。端末のほかに必要となる「周辺機器」は何が導入されるの？
	端末だけでなく、「周辺機器」も、できるだけ使いやすいものを導入したいと考えています。導入を予定している「周辺機器」は、「端末用のケース」と「スタイラスペン」の2種類です。
	「端末用のケース」は、どんなケースになる予定なの？ 毎日、学校と家の往復を持ち運ぶとなると、丈夫で軽いケースがいいと思うけど。
	ケースのサイズは、端末を収納した状態でもランドセルに収まる大きさです。ケースの上部に持ち手、ケースの下部にネーム枠がついています。軽いけど、しっかり端末を保護します。
	「スタイラスペン」ってなに？ あまり聞きなれない言葉だけど。
	パソコンやタブレットのタッチパネルに文字を入力する際に用いる専用のペンです。タッチペンとも呼ばれていますね。予算の範囲内で、使い勝手のよいものを導入する予定です。
	キーボードは、どうなるの？ スマホみたいに、指やスタイラスペンで、操作するのかな？
	北区で導入する端末は、画面とキーボードが合体しているノートパソコン型です。画面を90度開けばパソコンとして、360度開けばタブレットとして使用できます。

#### ☆ 家庭における端末の活用

	GIGA スクール構想により、『1人1台端末』が実現すると、日常的に、端末を家に持ち帰ると聞いたけど……。端末を持ち帰って家で何をやるの？
	家庭における活用方法は、「GIGA スクール構想運用検討委員会」で検討を進めています。家庭での活用は、例えば、学校からの連絡メッセージを閲覧したり、電子ドリル等の家庭学習に活用したりすることが考えられます。
	紙のプリントやドリルの冊子でなく、端末を使う宿題を出すこともできるんだね。
	すでに電子ドリル「ミライシード」や、オンライン動画教材「スタディサプリ」を宿題として出している学校もあります。また、紙の宿題と異なり、電子ドリルなら先生が1枚1枚、子どもたちから集める必要もないし、丸付けをする必要もありません。さらに、自動集計された一人ひとりの成果や達成状況について、先生が瞬時に把握できる学習ソフトもあります。
	慣れるまでは大変かもしれないけど……。 上手に活用すれば、とても便利だし、効率的な学習ができるようになりそう。
	そのとおり。そのためにも、学習効果が高く、使い勝手のよいソフトウェアを導入することが大切です。他区の状況も参考にしながら、一番よいものを選んでいくつもりです。
	端末を使った宿題なら、宿題がどこかに紛れて無くなったりすることもないね。 紙と鉛筆でなく、端末とスタイラスペンを使う宿題。なんだか宿題をやるのが、楽しくなりそう！

## ★GIGA スクールの端末の通信方法

	今年度、貸し出しているタブレットは、家庭内の無線 LAN を活用する「Wi-Fi モデル」と、通信契約付きの「LTE モデル」のタブレットの 2 種類あるようだけど。 令和 3 年 4 月以降、GIGA スクールの端末になると通信方法は、どうなるの？
	来年度、導入する『1 人 1 台端末』は、「Wi-Fi モデル」の端末の導入を予定しています。 そのため、学校・家庭のいずれの場所においても、Wi-Fi（無線 LAN）による通信を想定しています。
	「LTE モデル」の方が、「Wi-Fi モデル」より通信環境を気にすることなく、より場所を問わない使用ができるため、「LTE モデル」の方が使い勝手がいいと思うけど？
	「LTE モデル」を導入する場合、毎年の通信料だけでも、数億円の経費がかかると試算しています。既に Wi-Fi がある家庭にも LTE 通信を提供することになるため、北区では、その分の経費を学習で利用するソフトウェア等の購入にあてて、教育内容の充実を図っていきます。
	Wi-Fi 環境のない家庭は、どうしたらいいの？ それと、校外学習等に出かけたとき、端末を使うことになったらどうするの？
	Wi-Fi 環境のない家庭には、令和 3 年度については、モバイルルーターを貸し出すことなどを考えています。対象世帯をどうするか、どのような条件で貸し出すかは、「GIGA スクール構想推進プロジェクトチーム」で検討しています。また、校外学習等で利用することを想定し、各校に数台モバイルルーターを貸与することも考えています。
	そうか、端末を使って家で勉強をするときは、各家庭の協力が必要ということね。

## ★ GIGA スクールの端末の充電方法

	GIGA スクールがスタートすると、端末の充電方法は、どうなるの？
	「1 人 1 台端末」の学習環境では、各家庭において充電していただくことを想定しています。 北区では、宿題やオンライン面談など、家庭でも端末を利用していただく予定です。 家に端末を持ち帰った後に充電が切れて宿題ができなかったり、充電のために 1 時間目は端末を使えなかったりしないよう、しっかりと充電した状態で端末を学校に持ってきてください。
	充電の電気料金は、どのくらいかかるの？
	大手電力会社の調査によると、スマートフォンを 1 回フル充電するのにかかる電気代は、約 0.3 円～0.4 円程度。毎日フル充電すると、1 か月で 12 円。1 年で 144 円程度かかるとしています。
	端末の充電に伴う電気料金は、そのくらいなんだ。 もし、家で充電し忘れてたら、学校の授業で使えなくなるの？
	もし、家で充電を忘れて来た場合も、端末を使えず困らないように、各教室に予備の充電ケーブル数本を用意します。 家庭における充電についても、各家庭のご協力をよろしくお願いいたします。

北区教育委員会



City of Kita

〒114-8546 東京都北区滝野川 2-52-10

北区役所滝野川分庁舎 2 階 11 番

東京都北区教育委員会事務局

【構想全般に関すること】

教育政策課

TEL:3908-9279

【端末機器に関すること】

学校支援課 学校支援係

TEL:3908-9293

【学習全般に関すること】

教育指導課 指導係

TEL:3908-9287